

1液焼付型高分子エポキシ樹脂系プライマー

カンペ焼付プラサフ700

業務効率化への最適解

さまざまな素材に適応し、
素材起因による発泡を抑え、
粉体上塗り塗料でも2C1Bが可能

カンペ焼付プラサフ700

- 業務の最適化を実現させる
- お客様の生産性向上に貢献します
- 少数精鋭による迅速な対応が可能

特 徴

粉体上塗りでも
2C1B可能

発泡抑制
効 果

幅広い
素材適正

優れた
防食性

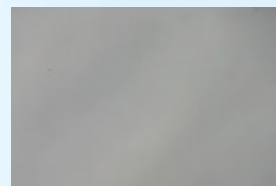
系 統	1液焼付型高分子エポキシ樹脂系プライマー
塗料性状	〈 容 量 〉 16kg
	〈 色 相 〉 白、ライトグレー(N8)、ブラック(N3)
	〈 密 度 〉 -
用 途	金属製品全般、電気機器、鋼製家具など

塗料性状値(塗料:ホワイト)		
密 度	g/cm ³	1.3
粘 度	KU/25℃	75
加熱残分	%	57

不良率低減により生産性向上！

焼付乾燥時に素材由来の発泡を最小限に抑え、作業効率の最大化を図ります。

空焼き工程の削減、
塗膜不良の塗りなおし不要など
時間の節約に貢献します！





工程短縮により業務最適化！

粉体塗料(上塗)との2C1Bが可能で工程短縮に貢献します。



幅広い素材適正

多様な金属に対する優れた付着安定性と、幅広い上塗り適性を備えています。
そのため、プライマーの選定にかかる時間を短縮できます。

適用素材

- SPCC
- アルミ (A5052)
- ステンレス (SUS304, 430)
- ZAM-ZP
- ZAM-ZC
- ADC12
- 電気亜鉛メッキ鋼板
- 亜鉛溶射材

※ご使用の際には十分な予備テストを行ってください。

適用上塗

アクリル塗料	マジクロン各種
メラミン塗料	アミラック各種
粉体塗料	エバクラッド 4200等各種

塗膜性能

試験片作成条件

素 材	リン酸亜鉛処理板 (0.8t×70mm×150mm SPCC-SD)
塗装方法	エアスプレー
下塗塗料	カンペ焼付プラサフ700
上塗塗料	マジクロンLTC ホワイト
乾燥条件	140℃×20分
膜 厚	下塗:20μm 上塗:30μm

試験項目	試験条件	試験結果
引っかき硬度	鉛筆法	H
付着性	1mm碁盤目(クロスカット法)	分類0
耐湿性	50℃ 95%RH 500時間	分類0
耐中性塩水噴霧性	5%NaCl 35℃×500時間 テープ片側剝離幅	0mm

各種表示

標準焼付条件	120℃×20分(被塗物温度)
焼付許容範囲	120℃～180℃

注) 上塗に焼付型塗料を2C1Bでご使用される際には、
上塗塗料の焼付条件にてご使用ください。

消防法	危険物表示	エポキシ樹脂塗料
	危険等級	Ⅲ
	区分	第4類 第2石油類

標準塗装条件

塗装方法	エアスプレー
希釈シンナー	スーパーエポシンナー各種
希釈率(%)	30～40
希釈粘度(秒/岩田カップ)	13～18
標準膜厚(μm)	15～25 (※粉体を2C1Bされる場合は 15～20μmの膜厚を推奨致します。)
理論塗布量	60g/m ² /10μm (ホワイト)

化学物質管理等に関する規制

- ・ RoHS指令の対象物質(※)は塗料設計上、意図的には使用しておりません。
※RoHS対象物質:鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニール(PBB)、ポリ臭化ジフェニールエーテル(PBDE)、フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) (DEHP)、フタル酸ブチルベンジル (BBP)、フタル酸ジブチル(DBP)、フタル酸ジイソブチル(DIBP)
- ・ 紛争鉱物(金、錫、タンタル、タングステン)は塗料設計上、意図的には使用しておりません。

ご使用上の注意事項

- 《予防策》
- ・ 容器を密封しておくこと。
 - ・ 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。
 - ・ 規制当局が指定する保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。
 - ・ (静電気に敏感な物質を積みなおす場合は) (製品が危険有害な気体を発生させるような揮発性の場合は) 容器および受器を接地すること。
 - ・ 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
 - ・ 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 - ・ 火花を発生しない工具を使用すること。
 - ・ 屋外または換気のよい場所でのみ使用すること。
 - ・ 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
 - ・ 規制当局が指定する保護手袋を着用すること。
 - ・ 取扱い後はよく洗うこと。
 - ・ 規制当局が指定する保護眼鏡/保護面を着用すること。
 - ・ 使用前に取扱説明書を手入手すること。
 - ・ すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 - ・ 必要に応じて個人用保護具を使用すること。
 - ・ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 - ・ 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 - ・ (必要な時以外は) 環境への放出を避けること。
- 《応急措置》
- ・ (水がリスクを増大させる場合) 火災の場合には、消火に規制当局が指定する適当な手段を使用すること。
 - ・ 皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに、汚染された衣類をすべて取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 - ・ 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 - ・ 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。
 - ・ 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 - ・ 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。
 - ・ 特別処置が緊急に必要である。
 - ・ 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 - ・ 直ちに医師に連絡すること。
 - ・ ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること。
 - ・ ばく露した場合: 医師に連絡すること。
 - ・ (緊急処置が必要な場合) 特別処置が緊急に必要である。
 - ・ 気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。
 - ・ 漏出物を回収すること。
- 《保管》
- ・ 涼しい所/換気のよい場所で保管すること。
 - ・ 施錠して保管すること。
- 《廃棄》
- ・ 内容物/容器を行政の規則に従って廃棄すること。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp



お近くの営業所は
こちらから!

各種カタログご覧になれます。